



マリンテック グランプリ



第3回マリンテックグランプリ

2019年9月28日(土)

会場:有明セントラルタワー

東京都江東区有明3-7-18 4F

グランプリ名	第3回マリンテックグランプリ
主催	公益財団法人日本財団、株式会社リバナース、 JASTO(一般社団法人日本先端科学技術教育人材研究開発機構)
場所	有明セントラルタワー 東京都江東区有明3-7-18 4F
開催日時	2019年9月28日(土)13:00-19:00 (交流会 19:10-20:30)
表彰	最優秀賞 賞金30万円+事業投資500万円を受ける権利 企業賞10件程度
参加対象	クローズド・事前登録制にて開催(ファイナリスト、ライトニングトーク参加者、ダイヤモンドパートナー、経営支援パートナー、スポットパートナー、アカデミアの研究者、学生)
Webページ	https://techplanter.com/mtg2019/

スポットパートナー



川崎重工業株式会社



日本水産株式会社



三菱電機株式会社



ツネイシホールディングス株式会社

審査員長**株式会社リバネス**

グループCEO

丸 幸弘

大学院在学中に理工系大学生・大学院生のみでリバネスを設立。日本初「最先端科学の出前実験教室」をビジネス化。大学・地域に眠る経営資源や技術を組み合わせて新事業のタネを生み出す「知識製造業」を営み、世界の知を集めるインフラ「知識プラットフォーム」を通じて、200以上のプロジェクトを進行させる。ユークレナ技術顧問など、多数のベンチャー企業の立ち上げにも携わるイノベーター。

**日本財団**

常務理事

海野 光行

1990年に大学卒業後、日本船舶振興会(当時)に入り、広報や国内の公益事業を担当した後、2000年に海洋事業部に配属。以後18年間にわたり、国内外の海洋に関するプロジェクトに携わってきた。11年からは常務理事として海洋部門を統括し「次世代に海を引き継ぐ」をテーマに事業を展開している。

**日本ユニシス株式会社**

執行役員

宮田 勲

東京生まれ。1988年日本ユニシス株式会社入社。システム職として主として金融分野を担当。地域金融機関(地方銀行・信用金庫)向け基幹システムの開発・運用および客先適用サービスに従事。2016年より金融システム第二本部長、2019年4月より現職。日本ユニシスの注力領域であるネオバンク戦略のもと、デジタルトランスフォーメーションを実現するプラットフォームの提供を担当。

**三井化学株式会社**

研究開発本部 機能材料研究所 繊維強化複合材G グループリーダー

森 亮二

1992年九州大学 総合理工学研究所修士課程修了。三井石油化学工業入社後 ポリオレフィンを中心にした高分子ポリマーアロイに関する研究開発に従事。その後 事業部でのマーケティング、モビリティを中心にしたR&D戦略企画を推進。2016年より現職。

**日鉄エンジニアリング株式会社**

海洋事業部 技術部 設備企画室長

箱田 利秀

1992年 新日本製鐵株式会社(現日本製鐵株式会社)入社。エンジニアリング事業本部において、機械設備技術・溶接技術分野の研究開発業務に従事。プロジェクトにおいては主に自動化技術の施工管理を担当。2003年から3年半のロシアでのプロジェクト、2013年から5年間のシンガポール駐在を経て、2018年4月より海洋プロジェクト管理室、2018年9月より現職。

**小橋工業株式会社**

東京研究所 所長

中谷 公紀

1977年岡山県生まれ。2000年小橋工業株式会社入社。同社開発部に配属以来、オートあぜ塗り機がコアを始め、耕耘爪やローターなどの農業機械の新商品開発に従事。60件以上の特許出願と意匠登録に関わるなど、開発の中核を担う。2018年4月に東京研究所の設立に携わり、ベンチャー・研究者等と連携した技術課題解決と新規開発の進行を主導。2019年7月に東京研究所所長就任、現職。

**株式会社荏原製作所**

環境事業カンパニー 事業企画部 部長

梅檀 恵治

1991年東海大学工学部卒。同年荏原製作所入社。環境プラント事業部門にて、火力発電所向けの新技術を用いた排ガス脱硫脱硝設備の実機1号機建設プロジェクトに設計担当として参画。その後、Waste to Energy関連の建設プロジェクトにコスト管理担当として参画。2017年より、事業企画部門にてSDGsに関する取組み、新事業開発等に従事。2019年より現職。

**損害保険ジャパン日本興亜株式会社**

ビジネスクリエーション部 リーダー

出口 常夫

1998年、帝人株式会社(現 帝人ファーマ株式会社)に入社し、10年間、医療機器分野で海外ベンチャーとの協業、臨床試験も含む研究開発、業事承認等の専門業務に従事。その後、6年間の米国駐在を含めた10年間、新規事業分野で国内外の有望ベンチャーの発掘、契約交渉、新規事業企画、事業開発に従事。これまでの経験を活かして日本を元気にすべく、2018年5月より、現職で新規事業創出に従事。

**大日本印刷株式会社**

理事

岡 素裕

1978年大阪大学基礎工学部卒、大日本印刷株式会社入社。1986年中央研究所にてパイオ、ディスプレイ、コンバーティング関連の新製品開発に従事、1999年ITビジネス調査などを担当後、2003年研究開発・事業推進本部長、2005年情報コミュニケーション研究開発センター長、2007年研究開発センター長、2009年新規事業開発プロジェクトリーダー、2012年hontoビジネス本部ビジネス開発ユニット長を経て2015年より現職。

**川崎重工業株式会社**

理事 企画本部イノベーション部長

野田 真

1984年京都外国語大学外国語学部中国語学卒業。1989年川崎重工業入社。1990年北京赴任、1992年本社海外拠点最年少の海外事務所長に就任、中国駐在計2回13年の期間中、現地法人第一号設立以降多くの現地拠点設立に携わる。2013年理事・海外総括部長。2017年よりイノベーション部を設立し、部長に就任。以来、スタートアップ等1200以上とコンタクトし、既存事業に対するシナジー、新規事業両面の探索や社内イノベーション文化の定着を図っている。

**日本水産株式会社**

執行役員中央研究所長

山下 伸也

1983年京都大学農学部卒。同年日本水産株式会社へ入社。1985~1987年東京大学応用微生物学研究所受託研究員。1990年博士。1991~1993年NIH(米国立衛生研究所)博士研究員。1999年生化学研究室長、2007年より中央研究所長。2016年より執行役員。水産分野、養殖分野の高度化等に取組む。

**三菱電機株式会社**

未来イノベーションセンター エクスプローリンググループマネージャー

山中 聡

1998年三菱電機株式会社入社。入社後、液晶TVや三菱電機を代表するオーラビジョンに搭載される画像処理LSIの開発に従事。2015年より現職。ベンチャー企業とのオープンイノベーションを推進。コミュニケーターとして、ベンチャー企業とのマッチングによる既存事業の強化や企業内の知財を活用した事業機会の創出に注力。

**ツネイシホールディングス株式会社**

執行役員 経営管理部 部長

津幡 靖久

1969年東京生まれ、早稲田大学商学部卒。コンサルティング業界(アンダーセンコンサルティング、A.Tカーニー)にて約7年情報通信関連ベンチャー企業(フォーバルテレコム、サイボウズ、フィードパス)約12年の経験を経て、2011年代表を務めていたフィードパスのヤフーによる買収を機にヤフーに入社。新規事業企画、M&A、グループ会社管理等を担当後、2015年10月ツネイシホールディングス(本社:広島県福山市)入社、2016年1月より執行役員として経営企画部門を担当(現任)同年4月CVC子会社のツネイシキャピタル(現ツネイシキャピタルパートナーズ)を設立、代表取締役社長就任(現任)ベンチャー投資事業及びグループ全体のM&A等による新規事業開発を担当。

第3回マリンテックグランプリ ファイナリスト一覧

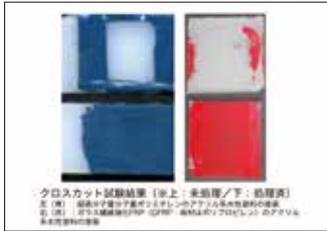
01 株式会社カナラボ

【代表】金澤 等

Theme 異種・同種材料の改質による
真の接着の実現
— 接着と塗装の強化による材料革新



接着困難なプラスチック、ゴム、金属、FRP等を表面改質して、分子間結合による強い接着を可能とする新技術である。疎水性材料の水溶性塗装も可能にする。自動車、航空機、船舶等の金属減少による軽量化、各種機器・船底等の高耐久性塗装の実現に有効である。



03 株式会社ワンワールド・ジャパン

【代表】森方 重貴

Theme 過熱水蒸気熱分解技術による
海洋ごみの資源化



塩分混じりの海洋廃プラ等混合廃棄物を、洗浄分別を必要とせず無酸素状態で熱分解し、副産物として発生する油（燃料）、炭化物や金属などの資源を回収できるプラントを実用化。昨今大きな問題となっている海洋ごみの効率的かつ経済的な処理に役立てたい。



05 株式会社かもめや

【代表】小野 正人

Theme ドローン物流事業者向けの
運行管理システム
インフラソリューション提供



「ドローン物流向け運行管理システムの提供およびドローン物流に関するコンサルティング」
「小型気象観測器販売・気象データ提供」「産業用ドローンの提供」の3つのソリューションの提供により、ドローン物流事業者のサービスを支援していく。



02 EVERBLUE TECHNOLOGIES, Inc.

【代表】野間 恒毅

Theme 小型自律分散自動操船ヨット開発
による漁業支援、エネルギー運搬、
各種サーベイランス



風力のみで推進する無人自動操船ヨットを開発。漁業従事者の後継者不足問題や動力船による地球温暖化ガス排出の解決を目指す。漁業支援、海上・海中・海底など各種サーベイランスの実施、海洋エネルギーで作った水素の運搬への活用も視野にいられている。



04 RedDotDrone Pte.Ltd.

【代表】三浦 望

Theme 複数ドローンによる
空飛ぶ撮影スタジオで
「空のメディア」を創る



広域スポーツでは、選手やコースの位置把握が難しく観客が把握できない場合も多い。複数ドローンによる空間管理・位置推定・画像処理技術により、臨場感ある映像とマイナースポーツの素晴らしさの発信を行い、選手・レフリーのスキルアップにも貢献する。



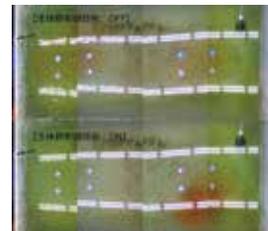
06 炎重工株式会社

【代表】古澤 洋将

Theme 生体群制御技術を用いた
養殖自動化システム



持続可能な水産業を目指す上で養殖事業者の労働環境の改善は急務である。世界初の魚群の誘導制御を可能にする技術を活用した製品を養殖用水槽・生簀を設置し、養殖生産の自動化を目指す。



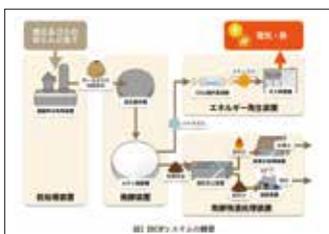
07 サステナブルエネルギー開発株式会社

【代表】光山 昌浩



Theme 海洋漂着プラごみ等を原料にした
メタン発酵ガス化発電事業

海洋に浮遊・漂着したプラごみを原料にしてメタン回収する。事業の根幹は、樹脂等を亜臨界水処理することでメタン発酵原料に変えること。さらに、亜臨界水処理装置を車載搭載することによって、地理的な制約を受けずにプラごみのメタン化を実現する。



08 Novelgen

【代表】小倉 淳



Theme 新規遺伝子探索アレーを用いた
海洋マイクロプラスチック分解による
環境浄化

人類の出すプラスチックゴミは海洋における非分解性ゴミとして生態系に多大な影響を及ぼしている。我々は新規遺伝子探索技術を基にプラスチック分解海洋微生物を探し出し、生物による生態環境回復を目指す。



09 ビワトロマス・プロジェクト

【代表】河内 浩行



Theme リサイクル型ビワマス
養殖システム開発事業

飼料に用いる魚粉、魚油の価格の高騰により、ビワマスの養殖業者が撤退を余儀なくされている。そこで、安全安価な代替飼料を開発し、脂の乗りが良く成長の早い「リサイクル型ビワマス養殖システム」を実現した。本概念は、様々な魚種に応用できる。



10 羽ばたき堂

【代表】遠藤 大希



Theme 空中風力発電で、電気エネルギーを
世界どこでも自給自足できる
社会を創る

上空の風で発電する「空中風力発電」を実用化させる。シンプルで小型なシステムを用いて、風速や風向きの影響・倒壊リスク・低発電効率など既存の風力発電の問題を解決する。将来的に、途上国や被災地、船上などでの安定的な電力供給を目指す。



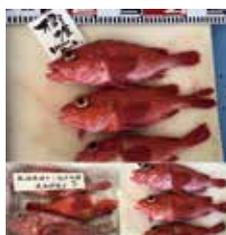
11 根室喰nemurock 松田商店

【代表】松田 英照



Theme 漁業収益向上を目指した
鮮魚の高鮮度保持技術の開発

低濃度塩水による魚の蓄養技術と電気刺激による高鮮度保持処理により、魚の身質の高品質化を達成。従来雑魚扱いされていた魚を高値で売ることができ、この独自技術を活用し、乱獲で生計をたてる漁師の働き方改革への貢献を目指す。



12 廃ゴムリサイクルプロジェクト

【代表】佐藤 伸



Theme キノコによる
廃ゴム再資源化プロジェクト

廃タイヤに代表される加硫ゴム廃棄物は日本国内だけでも年間数百万トンに上る。廃ゴムは環境中では容易に分解しないために海洋に流出した場合には海洋汚染に直結する。本研究では、キノコのちからを活用し、廃ゴムのリサイクルを目指す。

